



















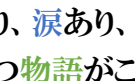

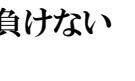



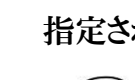

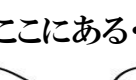
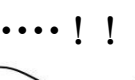


令和二年度 校内読書感想文コンクールを実施します

1. 応募対象 全校生徒
2. 対象図書 ①自由図書
②校外コンクール課題図書（課題図書は図書館にあります）
3. 字数・用紙
 - ①400字詰め原稿用紙4枚以上、5枚以内（1600字以上2000字以内）
 - ②本文は、用紙1枚目の1行目から書いていくこと
 - ③応募票に、学年・出席番号・名前・読書感想文の題名・書名・著者名・出版社を書くこと
 - ④原稿用紙・応募票は、学校指定のものを配布
4. 提出日 8月27日（木）クラス担任に提出
5. 審査 8月27日（木）～9月7日（月）第一次審査
9月7日（月）～9月15日（火）第二次審査
9月16日（水）最終審査
6. 表彰 入選作品を表彰し、「読書感想文集（生徒会誌）」に掲載する

読書感想文課題図書

笑いあり、涙あり、夏の暑さに負けない
心を打つ物語がここに・・・！
指定された理由がここにある……！！



ちょっと、早けど、早めに本を選んでおこう！

課題図書

「廉太郎ノオト」 谷津矢車著

瀧廉太郎の頭のなかには、いつも鳴り響いている音がある。東京音楽学校で才能を開花させ、新しい時代の音楽を夢見た明治日本で短い命を燃やした一人の天才の軌跡を描き出



「フラミンゴボーイ」 マイケル・モーパーゴ著

一人のイギリス青年が、一枚のゴッホの絵をきっかけに訪れた南仏カマルグで、原因不明の高熱におそわれ動けなくなる。辺りにはフラミンゴが無数飛んでいた。気を失った後、助けられた家で不思議な話を聞くことになる。

第2次世界大戦の末期、南仏の田舎町カマルグにもナチスはやってきた。

そこで何が起きたのか………？

それは、フラミンゴと話ができる不思議な力を持つ少年とロマの少女の物語だった。



「キャパとゲルダ」 マーク・アロンソン&マリナ・ブドーズ著

生きるために一ふたりは戦場へ向かった。激動の1930年代、スペイン内戦を世界に伝えた二人のカメラマン、ロバート・キャパとゲルダ・タロー。カメラを武器に革命に身を投じた、若き二人の青春の物語。



第53回

YBC 読書感想文コンクール

課題図書



「むこう岸」 安田夏菜著

中学生の前に立ちはだかる「貧困」というリアルに、彼ら自身が解決のために動けることはないのだろうか。

「岐路の前にいる君たちに」 鷺田清一著

新型コロナウイルス対策で、卒業式や入学式が中止や縮小になった学校も少なくない今年の春。せめてこんな本はいかがだろう。

「16歳の語り部」 雁部那由多他

宮城県東松島市に3人の若き震災の語り部がいる。本書は、あの日小学生だった彼らの歩みとこれからのことを記録した希望の書だ。

「グレタのねがい」

自分たちの未来のために、権力をもつ人たちの無関心と戦い、声をあげる活動は今なお続いています。忖度なしで気候危機を訴える力強い言葉が心に刺さるでしょう。

「生き物の死にざま」 稲垣栄洋著

老体に鞭打って花の蜜を集めるミツバチ、地面に仰向けになり空を見ることなく死んでいくセミ、成虫としては1時間しか生きられないカゲロウ……



寄贈していただきました！

6月25日(木)2校時、3年生政治経済、竹岡教諭の授業で演題 「戦争と平和について考える」

講師 大沼義男氏(村山在住 95歳)

コーディネーター 下山礼子さん

以上のお二方から、お話を伺いました。

シベリア抑留の経験者である大沼氏は、

“戦争は本当に惨めなもの”

“若い人には絶対に経験してほしくない”と語り、

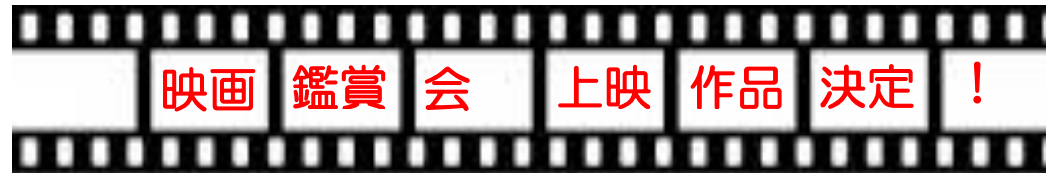
生徒達の心に、深く深く刻み込まれたことと思います。

大沼氏からは、自作出版の「作詩雑記」(其の一～三)を

下山さんからは、「シベリア抑留者の思い出」澤田精之助著

「一週間」井上ひさし著を寄贈していただきました。

貴重な本をありがとうございました。



映画鑑賞会を開催するにあたって、2019年に書籍から映画化・アニメ化・実写化された作品から皆さんにアンケート調査をしました。結果を報告します。

第一位 天気の子 新海誠著 アニメ 35票

第二位 屍人荘の殺人 今村昌弘著 22票

主演：神木隆之介・浜辺美波

第三位 ぼくらの七日間戦争 宗田理著 17票

主演：北村匠海：芳根京子



以上の結果から、「天気の子」「屍人荘の殺人」の上映を9月・11月に予定しています。

詳しく決まりましたら、図書委員が連絡します。

皆さんのご参加、お待ちしております。

